

大腸ポリープとは

大腸ポリープは組織学的な特性の違いにより次のように分類されます。

<通常型腺腫>

<鋸歯状ポリープ>

<ポリポイド腺癌>

<炎症性ポリープ>

<過誤腫性ポリープ>

<間質性ポリープ>

<リンパ組織性ポリープ>

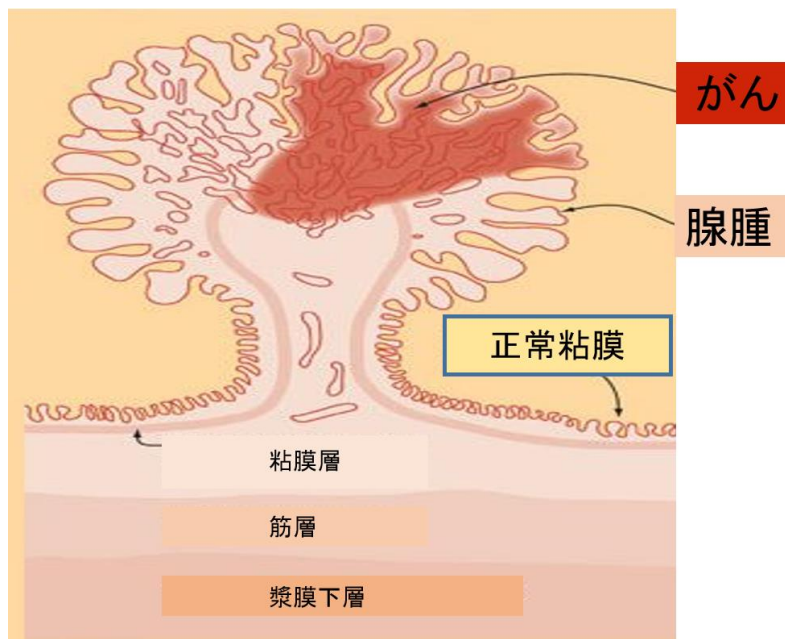
<内分泌性ポリープ>

<その他>

大腸ポリープ（腺腫）の担癌率は？

日本の報告

5mm以下	0.5%
6-9mm	3.3%
10mm以上	10~25%



欧米の報告

5mm以下	2%
6-10mm	5%
11-15mm	10%
16-20mm	12%
21-25mm	20%
26-30mm	18%

いずれにしても、ポリープが大きくなるにつれ、担癌率も上昇する傾向にあります。

大腸ポリープ・癌の予防は？

大腸ポリープ・癌の予防に対する、以下のような報告があります。

- 食物繊維をたくさんとることによって、大腸ポリープのリスクが0.51倍に低下
- 加工肉をたくさんとると直腸ポリープが増加
- セレコキシブ、アスピリンは大腸腺腫の再発抑制効果を有し、カルシウム製剤は腺腫増大抑制効果を示す。
- 大腸腺腫症では、スリダク、セレコキシブ、EPA-FFAの短期投与で腺腫の数や大きさを抑制。

**当院では痛くない大腸カメラ
を実施しております。**



0



1-3



4-6



7-9



10